



第29卷

目次

論文

出生前診断をうけて親になる経験：Gさんの語り ——子どもの生命の危機的状況のなかで——	岡本 留美... 1
旧軍港呉から見る「被爆地」の戦後史 ——1950年代に着目して——	鈴木 裕貴... 11
デュルケム道徳教育論の成り立ち ——〈意志の自律性〉の意義——	水谷 友香... 25
戦後の日活と映画衣裳 ——その独自性と時代表象について——	辰巳 知広... 39
民主主義へのジェファーソンの「信仰」 ——政治的疎外, 自然権, プラグマティズム——	谷川 嘉浩... 49
頼山陽における茶の湯と煎茶	島村 幸忠... 63
安浩相の教育活動に関する研究 ——1945年から1950年までの時期を中心に——	高城 建人... 77
三日月と待月	陳 馳... 93
漢語語彙史の研究 ——「無端」を中心に——	佐々木 舜...105
EBPMの二つの側面 ——米英の比較を通じた日本への示唆——	杉谷 和哉...121
研究ノート	
自由な校風という教育実践 ——京都府立鴨沂高等学校の学校行事「仰げば尊し」から——	津田 壮章...135
博士学位一覧	153
修士論文題目一覧	165
総合人間学部卒業論文題目一覧	173

2020

京都大学大学院 人間・環境学研究科

本誌に関する連絡は下記宛に願います。

606-8501 京都市左京区吉田二本松町
京都大学大学院 人間・環境学研究科
機関誌編集委員会

All correspondence concerning this publication should be addressed to:

The Editorial Board
Graduate School of Human and Environmental Studies
Kyoto University
Kyoto 606-8501, Japan

本巻編集委員

大黒弘慈（委員長）、佐藤義之、佐野 宏、高橋弘樹、谷口一美、西脇麻衣子、吉江 崇

『人間・環境学』 投稿要領

(2009年12月1日 編集委員会作成, 2020年10月1日 改定)

1. 投稿資格

1. 当研究科に関わる教職員と当研究科に在籍する学生に限る。ただし当研究科に関わる教職員の共著者として、それ以外の者を含むことができる。

2. 投稿規定

1. 原稿の種類は論文、研究ノート、展望、資料、その他とし、研究上の倫理公正に十分配慮した、未発表のものに限る。
2. 原稿の採否は複数のレフェリーによる審査を経て決定する。
3. 編集委員会は著者に原稿の修正を求めることができる。
4. 原稿は横書きを原則とする。ただし内容の性質上どうしても縦書きでなければならない場合はこの限りではない。
5. 原稿はコンピュータで作成・印刷し、CD-Rなど電子記録媒体を添える。メールでの添付ファイルによる提出は不可。なお原稿はA4版とし、和文の場合は1行40字×30行、欧文の場合は30行で印刷すること。3部提出する。使用ソフト（WORDなど）を明記すること。
6. 外国語で書かれたものは、native speakerによるチェックを受けておく。
7. 原稿の長さは、本文、註、要旨、図・表等すべてを含めて刷り上がり14頁以内とする。刷り上がり（印刷形式）については3.2を参照のこと。尚、文字のみで図・表が一切無い原稿の場合には、400字詰原稿用紙で65枚以内となる。
8. 日本語「要旨」および、原則として、英文 Summary を付ける。その他の言語による「要旨」を付けることもできる。それぞれ、刷り上がりで半頁以内とする。
9. 注や引用文献などは原稿の末尾にまとめる。
10. カラー印刷等、印刷製本において余分にかかる費用は著者の負担とする。
11. 掲載原稿については、京都大学学術情報リポジトリに登録・公開するものとする。ただし、執筆者からの要望によって論文を公開しないことも可能である。また、公開の諾否の確認は掲載決定後に行うので、審査に対する影響は一切無い。

3. 印刷形式

1. 版型はB5版とする。活字は9ポイントを標準とする。
2. 欧文および和文横書きの場合は左右2段組・縦長頁とする（1段の収容字数は、和文の場合22字×42行、欧文の場合50行）。和文縦書きの場合は、右開きを先頭にし、2段組とする（収容字数未定）。
3. 細部については最新号を参照されたい。

4. 別刷り

1. 50部まで無償とする。これを越える部数（50部単位）については、著者の負担とする。

5. 『人間・環境学』第30巻原稿締切り

1. 原稿の締切りは2021年3月31日（水曜日）16時。提出場所は、大学院掛事務室。
2. 投稿者は上記の期日までに、所定の投稿票（研究科HPに掲載）の関係事項にすべて記入し、原稿とともに提出すること。

〈編集後記〉

本年度も多数の投稿をいただき、ありがとうございました。本研究科の複数の教員による厳正な審査を経た優秀な論文と研究ノートが掲載されています。投稿された皆様、論文の査読にご協力いただいた諸先生方、そして、学位一覧などの作成および原稿の受け渡し・送付など、あらゆる面でお支えいただいた事務員の皆様に、厚くお礼申し上げます。

博士学位一覧の論文要旨につきましては、京都大学学術情報リポジトリ (KURENAI) をご覧ください。 <https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/> です。同サイトでは京都大学全体の学術情報を読むことができます。ぜひご活用ください。

なお、論文の掲載順序につきましては、例年通り、所属の講座・分野の順序に従っています。

本誌は学際融合の視点から、本研究科の学生のみならず教職員の原稿を広く受け付けています。先生方の積極的な投稿をお待ちしております。

本巻の投稿要領に研究公正に関わる文言を付け加えました。投稿の際は十分ご注意ください。(大黒記)

人間・環境学 第29巻

2020年12月20日発行

発行者 小島泰雄

606-8501 京都市左京区吉田二本松町
京都大学大学院 人間・環境学研究科

印刷者 明文舎印刷株式会社

601-8316 京都市南区吉祥院池ノ内町10

Human and Environmental Studies

Volume 29

Issued on 20 December 2020

Published by KOJIMA Yasuo

Graduate School of Human and Environmental Studies

Kyoto University, Kyoto 606-8501, Japan

Printed by Meibunsha Printing Co., Ltd., Kyoto, Japan

©2020 京都大学大学院 人間・環境学研究科

Human and Environmental Studies

Vol. 29

CONTENTS

Originals

The experience of becoming a parent following antenatal diagnosis: a case study using episode description	Rumi OKAMOTO... 1
Postwar History of <i>Hiroshima</i> from a Viewpoint of Naval City of Kure	Yuki SUZUKI... 11
La formation de l'éducation morale par Durkheim —— l'importance de l'autonomie de la volonté ——	Yuka MIZUTANI... 25
Postwar Nikkatsu and Film Costume —— its Uniqueness and Contemporaneity	Chihiro TATSUMI... 39
On Jeffersonian "Faith" in Democracy: Political Alienation, Natural Rights, and Pragmatist Trust.....	Yoshihiro TANIGAWA... 49
How did Rai Sanyo think about Chanoyu and Sencha	Yukitada SHIMAMURA... 63
The research of the An Ho-san's Educational Activities —— around the time between 1945 and 1950 ——	Kento TAKASHIRO... 77
Mikazuki and Machitsuki	CHEN Chi... 93
The study on the history of the lexicon of kango —— with a focus on “無端” ——	Shun SASAKI... 105
Two Aspects of EBPM —— Implications for Japan through a Comparison of the US and UK ——	Kazuya SUGITANI... 121
Note	
Liberty tradition in schools as an educational practice —— <i>Aogeba Toutoshi</i> performed by Ohki High School in Kyoto Prefecture ——	Takeaki TSUDA... 135
Titles of Ph. D. Dissertations	153
Titles of Master's Theses	165
Thesis Titles of Recent Graduates of the Faculty of Integrated Human Studies	173

2020

Graduate School of Human and Environmental Studies
KYOTO UNIVERSITY